

# ほっとムラサキの効果確認試験

JAむかわ

レタス生産者



生産者① 試験品 3.2



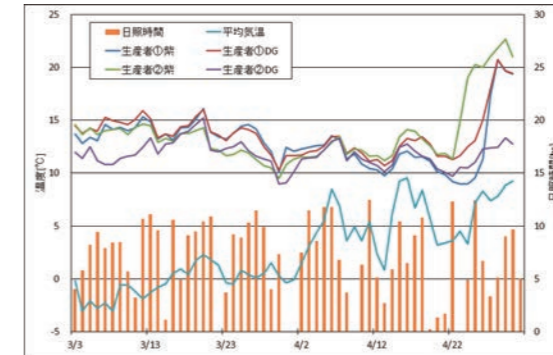
生産者① 慣行品 3.2



生産者② 試験品 3.2



生産者② 慣行品 3.2



温度グラフ

## 試験目的

ほっとムラサキの効果確認試験

## 試験作物及び品種

レタス

## 試験資材及び数量(規格)

ほっとムラサキ (0.025mm×270cm×200m)  
(0.075mm×300cm×200m)

## 慣行資材

ダークグリーンマルチ

## 資材使用期間

1月～4月

## 試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)  
展張作業については、慣行品と変わらない。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響  
あまり生育差が見られない生産者や、ダークグリーンマルチに比べ雑草の発生が多く、一部では収穫できなくなってしまった圃場もあった。  
一方で、ムラサキマルチの方が非常に生育が早かった生産者もいた。
- (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について  
慣行品と変わらない。
- (4)保温効果について  
生産者によっては、播種1～2か月後の大きく生育していたため、保温効果が高まったと考えられる。
- (5)雑草・病害虫の発生について  
雑草が発生した圃場が多かった。

## モニター感想

- ①ダークグリーンに比べ、雑草の発生が多かった。  
むかわの作型にはあまり合わない可能性がある。
- ②雑草の発生が激しく、収穫できなくなったハウスがあった。ダークグリーンより光の透過性が高いためか、雑草は発生しやすいと思う。
- ③保温効果が高まったためか、非常に生育が良好であった。目視でも明らかにレタスの大きさが異なり、ムラサキマルチの方が良かった。

## JA担当者の感想(経済部 國重次長)

一部では、ムラサキマルチの保温効果が高かったが、ダークグリーンマルチに比べ、光の透過性が高かったためと考えられる。しかし、ムラサキマルチの方が雑草が多発生した生産者が多かったため、ダークグリーンマルチからの切り替えは難しいと判断する。  
保温効果の上昇および雑草抑制効果が両立されるような改良となれば、メリットが出るため、実用的になると思う。

## 今後の使用について

改良して欲しい。

- 1 高温対策
- 2 害虫忌避効果
- 3 調光フィルム
- 4 ネット広幅
- 5 クリネート
- 6 マルチ
- 7 不織布
- 8 育苗資材
- 9 酪農資材
- 10 その他